

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2008-524708(P2008-524708A)

【公表日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-546759(P2007-546759)

【国際特許分類】

G 05 B 13/02 (2006.01)

【F I】

G 05 B 13/02 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年9月30日(2011.9.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0006

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

このプロセスのパラメータの設定値を受け取る手段；プロセスのセンサと第1のフィードバック・ループを介してプロセスのパラメータに関するフィードバック信号を受け取る手段；設定値とフィードバック信号を比較して誤差信号を生成する手段；並列PIDバスで誤差信号を処理する手段；およびフィードバック信号に基づいて少なくとも1つのPIDバスの制御因子を自動的に調整する手段を含む、プロセスを制御する装置を開示する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

制御因子プロセッサ218などの手段は、フィードバック信号に基づいて少なくとも1つのPIDバスの制御因子を自動調整するために設けられる。例として示す図2の実施例において、制御因子プロセッサ218は、出力をゲイン調整乗算器220、222、224の1つあるいはそれ以上に対し供給する。